

・パソコンの種類	2
・マウス操作の基本	4
・キーボード操作の基本	4
・パソコンの起動	6
・マウス操作の練習	8
・ローマ字入力	12
・日本語入力	16
・「設定」	27
・フォルダとファイルの基本	29

パソコン教室アイリス

パソコンの基本用語

a. Windows

Microsoft 社が提供している OS(Operating System)です。

キーボードからの入力や液晶モニター、プリンターへの出力といった入出力処理、ハードディスクドライブやメモリの管理など、パソコン全体を管理するソフトウェアのことです。

現在 Microsoft 社のサポート対象となっている Windows のバージョンは古いものから“Vista”、“7”、“8.1”、最新バージョンが 2015 年夏に提供開始された“windows10”です。

b. CPU(Central Processing Unit の略)

パソコンの頭脳部です。頭の回転の速さを「Hz(ヘルツ)」で表します。

c. メモリ(RAM と表記されることもあります)

パソコンが稼働している間の作業机です。作業機の広さは「Byte(バイト)」で表します。

最近のパソコンでは 2GB(Giga Byte、ギガバイト)以上が一般的です。4GB あればパソコンの動きが快適になります。

d. ハードディスクドライブ(HDD と略して表記されます)

データを保存する保管庫です。保管庫の大きさ(容量)も「Byte(バイト)」で表します。

最近のパソコンでは 300GB~500GB が多いですが、さらに容量の大きい 1TB~4TB が普及しつつあります。

保管庫が大きいほど保存できるデータの量が増えます。

<容量の単位: Byte、略して B>

1000B = 1KB (Kilo Byte キロバイト)

1000KB = 1MB (Mega Byte メガバイト)


1000MB = 1GB (Giga Byte ギガバイト)

1000GB = 1TB (Tera Byte テラバイト)

マウス操作の基本

マウスはキーボードと並んで、パソコンの代表的な入力機器です。

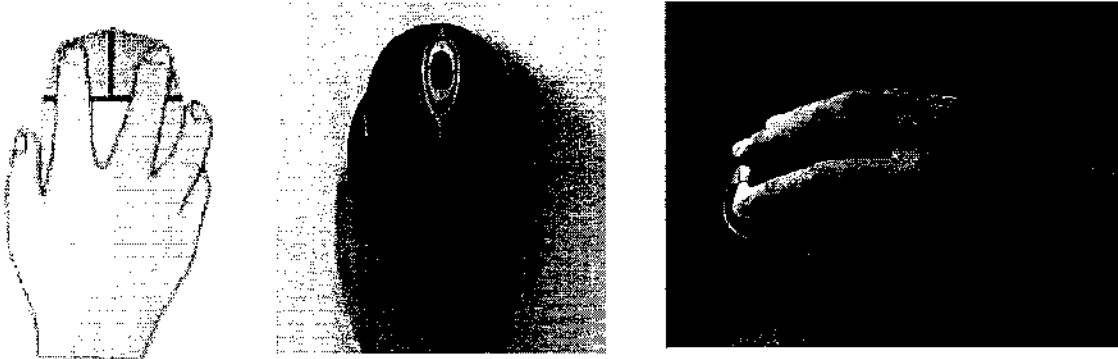
そしてマウス操作はパソコン操作の基本です。これがうまくできないと、パソコンで何もすることができません。

マウスを動かすと、モニター画面上でマウスポインタ(普段の形は)が連動して移動します。

マウスポインタを目的の位置に移動することで処理の対象を指し示します(この操作を“ポイントする”といいます)。その場でマウスをクリックしてパソコンに処理の実行を指令します。

マウス操作でパソコンに指示を伝えますので、的確に伝えられるように練習しましょう。

1. マウスの持ち方



マウスは右手で包み込むように持ち、人差し指を「左ボタン」、中指を「右ボタン」の上に軽く乗せます。

マウスの左側面を親指で、右側面を薬指で軽く押さえます。

手首は浮かさずに机に乗せ、手首を中心にしてマウスを浮かさずに、前後左右に移動します。

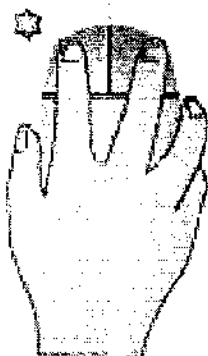
肩に力が入らないように、マウスを軽く動かすのがコツです。

上達の妨げとなる多くの原因に指が緊張していることがあげられます。怖がらずリラックスして触れるようにしましょう(マウスは簡単には壊れませんから)。

2. マウスの使い方

マウスの代表的な使い方に、「クリック」、「ダブルクリック」、「ドラッグ」、「右クリック」の4つの操作があります。

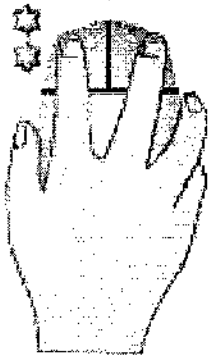
a. クリック (カチャ)



マウスポインタを目的の位置に合わせて左ボタンを1回押して離します。この操作をクリックといいます。

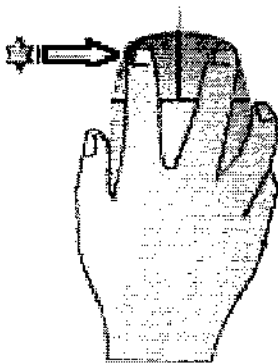
メニューの選択や操作の実行指示などに使います。

b. ダブルクリック (カチャカチャ)



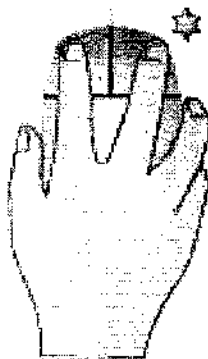
アイコン等にマウスポインタを合わせて、マウスの左ボタンを素早く2回押して離します。この操作をダブルクリックと言います。プログラムを起動したり、ファイルを開いたりするときに使います。

c. ドラッグ



ポイントして、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かし、最後に離します。この操作をドラッグと言います。ウインドウを移動したり、拡大縮小したりする時、線を引く時などに使います。

d. 右クリック

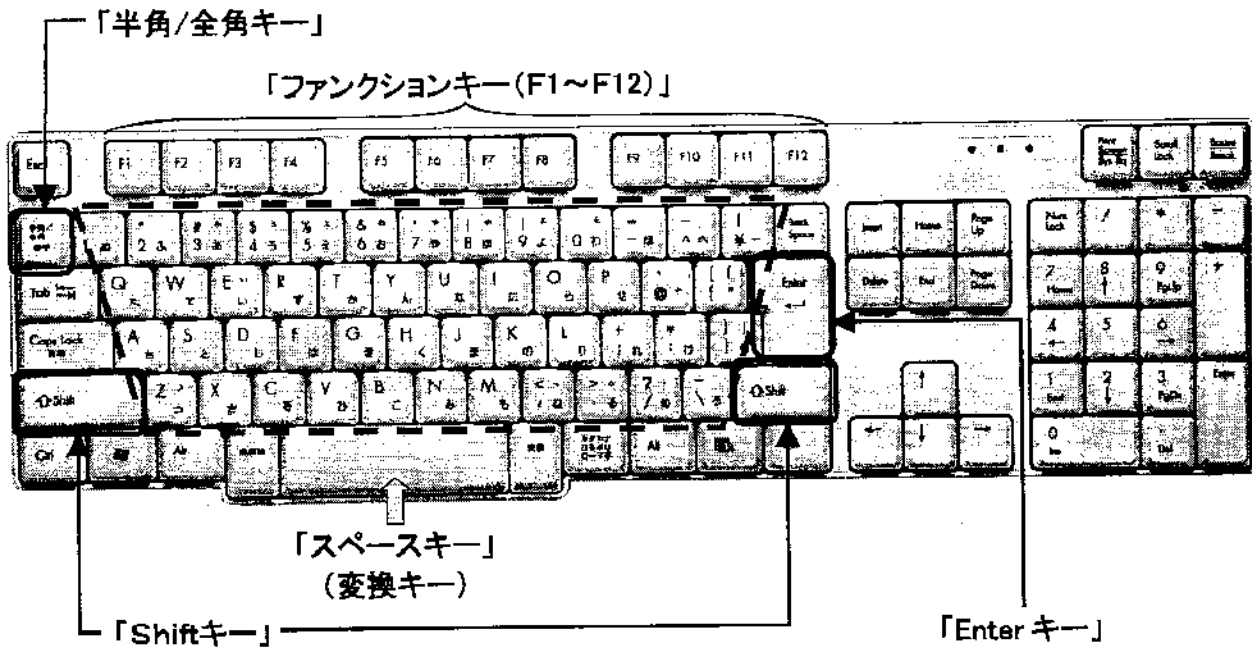


マウスポインタを目的の位置に合わせて、右ボタンを1回押して離します。この操作を右クリックと言います。コンテキストメニュー(ポイントしている画面に応じたメニュー)を表示する時に使います。使いこなすと何かと便利です

3. マウス操作のコツ

- ◆クリックするときは、マウスを縦や横にずらさないこと。
クリックする指以外は動かさず、マウス自体が動かないようにマウスを支えておきます
- ◆マウスをただ移動させるときは、軽く、なるべく力を入れ過ぎないこと。
マウスは親指と薬指で軽く握り、ボタンの上の指も放れていても構いません。

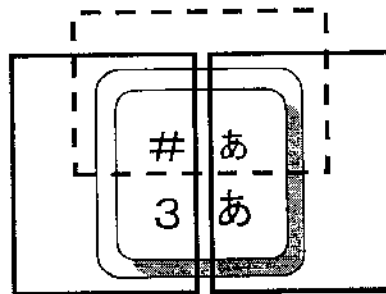
キーボードの基本



1. 文字キー(上図の点線で囲んだ部分)

文字キーを押すと、キーに表記されている文字が画面に表示されます(アルファベット、数字、ひらがな)。一つの文字キーには2~4個の文字や記号が表記されています。

Shift キーと組み合わせて入力する文字



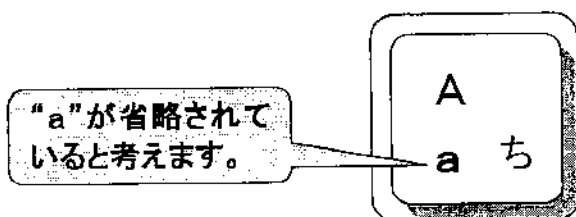
ローマ字入力 かな入力

日本語入力には「かな入力」と「ローマ字入力」がありますが、最近では「ローマ字入力」が一般的になっています。この場合キーの右側に表記されている「かな文字」は無視して考えます。

文字キーを押すと左下の文字(上の例では「3」)が画面に表示されます。


左上の文字(上の例で「#」)を入力するには「Shift キー」を押しながら文字キーを押します。

左上に大文字のアルファベットが表記されているキーは、左下に同じアルファベットの小文字が省略されていると考えます。



そのまま文字キーを押すと小文字のアルファベット(左図の例では「a」)となります。大文字のアルファベット(左の例では「A」)を入力するときは「Shift キー」を押しながら文字キーを押します。

2. 半角/全角キー

キーボードの左上部にある「半角/全角キー」を押す毎に、文字入力モードが「全角入力」から「半角入力」に、あるいは「半角入力」から「全角入力」に切り替わります。

全角入力

日本語入力のモードです。

漢字、ひらがなの他に、アルファベットや数字も全角で表示されます。

半角入力(「直接入力」とも言います)

アルファベットや数字を入力するときのモードです。

全角と半角の違いは後述します(p.22)。

3. ファンクションキー

ファンクションキーとはキーボードの最上段にある「F1」～「F12」のことです。

プログラムの機能を簡単に実行するためのキーで、下表のファンクションキーは便利なので覚えておきましょう。

キー操作	ファンクションキーの実行内容
F1	今使っているソフトの「ヘルプ」を開く
F2	ファイルを選択後に押すとファイル名の変更
F6	ひらがなに変換
F7	全角カタカナに変換
F8	半角カタカナに変換
F9	全角アルファベットに変換
F10	半角アルファベットに変換

4. スペースキー

全角入力モードで文字を入力中には「変換」キーとして働きます。変換確定後に単独で押した場合は「空白」が入力されます。

半角入力モードで文字を入力中には「空白」キーとして働きます。

5. Enter キー

操作を確定するときに使用します。また、確定後に押すと改行されます。

<例>

- ・全角入力モードで漢字変換を確定する
- ・入力中の行の終了を確定する ⇒ 改行する
- ・メニュー選択で確定する(マウスで選択する項目をクリックする操作と同じです)

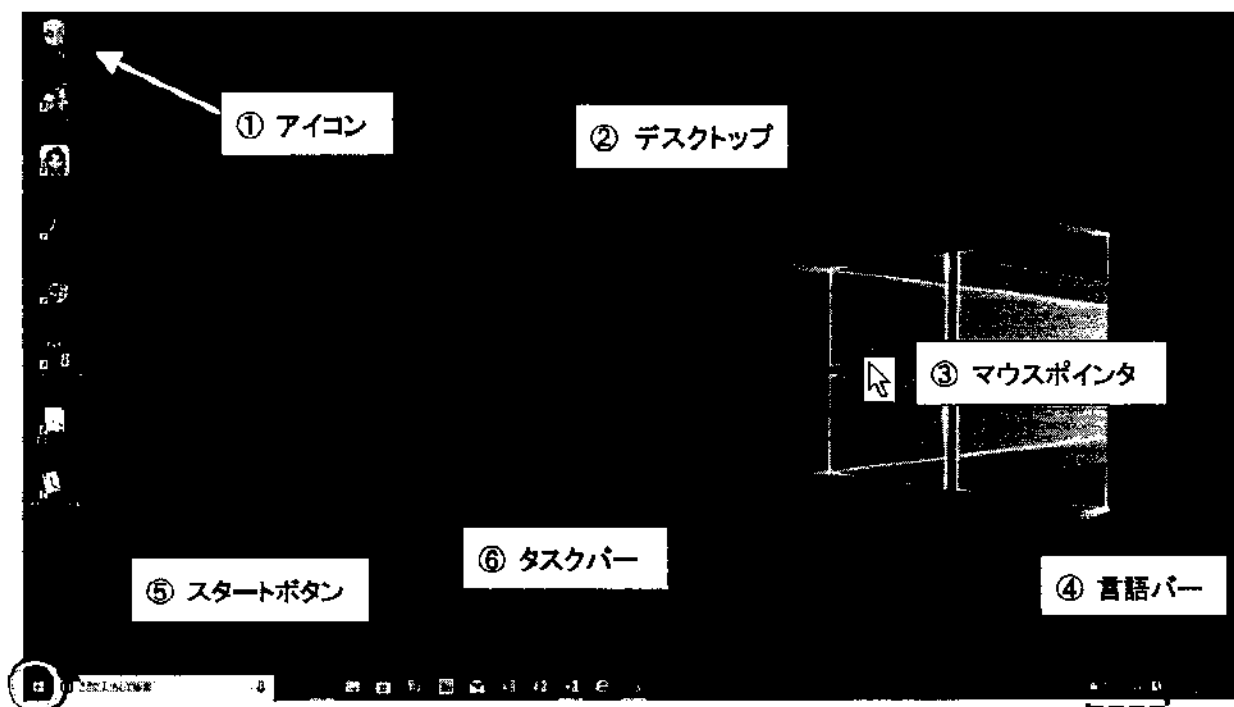
パソコンの起動と終了 (Windows10 の場合)

1. パソコンの起動

本体の電源ボタン(⏻)を押します。(ノート型にはスライド式の電源スイッチなどもあります。)

画面に砂時計のようなものが表示されている間はキーボードやマウスに触れずにそのまま待ちます。

しばらく待つと Windows のデスクトップ画面(下図)が表示されます。



① アイコン	ファイルの内容やプログラムの種類などを図や絵柄で表したものの。デスクトップ上のアイコンはショートカット・アイコンと呼び、ファイルやプログラムにリンクされています。このアイコンをダブルクリックすると、ファイルやプログラムを直接開くことができます。
② デスクトップ	パソコンを起動したら、最初に出てくる画面全体の呼称です。
③ マウスポインタ	マウスの位置を示すマーク。状況によって形状が変化します。
④ 言語バー	日本語入力を管理するツールの集まりです
⑤ スタートボタン	「スタートボタン」をクリックすると「スタートメニュー」(次ページ参照)が開きます。プログラムの起動やパソコンの各種設定、パソコンの終了などに利用します。
⑥ タスクバー	動作中のプログラムやウインドウの名前が表示されます。

2. スタートメニュー

画面左下の「スタートボタン」をクリックすると、「スタートメニュー」が表示されます。




スタートメニューの左の列にはインストールされているプログラム（インターネット、電子メールなど）が表示されます。

※「プログラム」は「アプリ」とも呼びます。

左の列に目的のプログラムが見当たらない場合は、スクロールバーを下に下げると、パソコンに組み込まれているプログラムが表示されます。

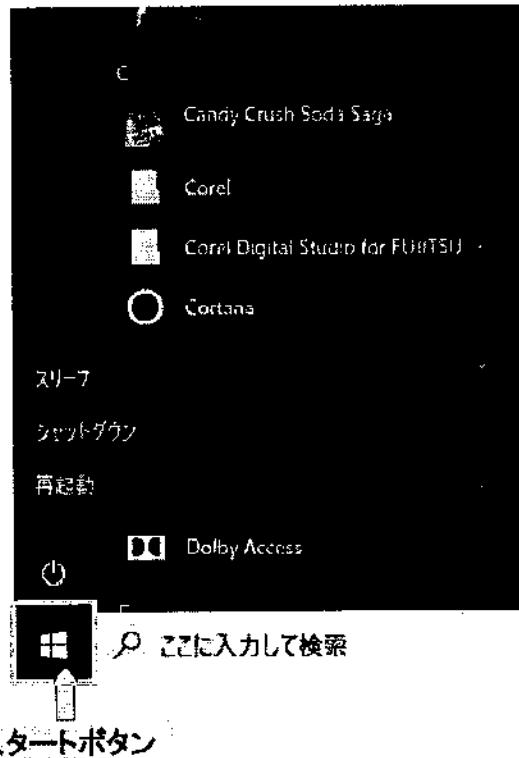
スタートメニューの右の列には、パソコンにインストールされているソフトがタイル形式で表示されます。

また「設定」ボタン  を押すと、パソコンを管理・設定するための種々のツールが用意されていて、パソコンを自分好みにアレンジすることができます。ただしパソコンの操作に慣れるまでは立ち入らないほうが良いでしょう。

※「設定」はパソコンのトラブルに解決するために操作する項目ですので、詳しい説明についてはこのテキストでは省略します。

3. パソコンの終了

「スタート」ボタンをクリックし、続いて「スタートメニュー」の電源ボタンをクリックすると小さな窓が開いて真ん中の「シャットダウン」ボタンをクリックします。しばらくすると電源が自動切断します。



① シャットダウン (U)

Windows ~~Vista~~ を終了し、パソコンの電源を切ります。次のような場合は、必ず電源を切ってください。

- ・バッテリーパックの取り付け/取りはずしや、メモリの取り付け/取りはずしを行なうとき
- ・付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合
- ・数日以上パソコンを使わないときや、持ち運ぶとき
- ・パソコン本体を航空機や病院に持ち込むとき

② スリープ (S)

それまでの作業をメモリに保存して電源が切れた状態になります。次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。

スリープ中はメモリの状態を保持するためにバッテリーを消耗しますので、ACアダプタを取り付けておくことを推奨します。

③ 再起動 (R)

再起動とはパソコンをリセットすることです。一旦 Windows が終了した後、自動で Windows が起動してデスクトップ画面が表示されます。

マウス操作の練習 (「なるほどネット(<http://www.naruhodo.net/it/>)」で提供されている練習です)

マウス操作と文字入力を簡単に練習できるサイトを使った練習です。

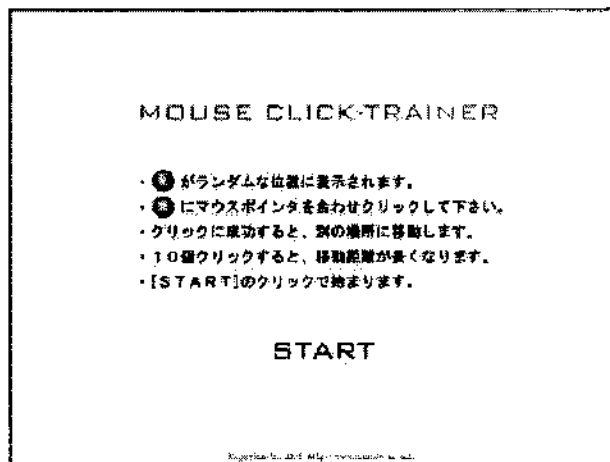
※講師が準備をしますので、その場でお待ちください。

マウスの代表的な操作には「クリック」、「ダブルクリック」、「ドラッグ」、「右クリック」があります。ここでは右クリック以外の操作を練習します。

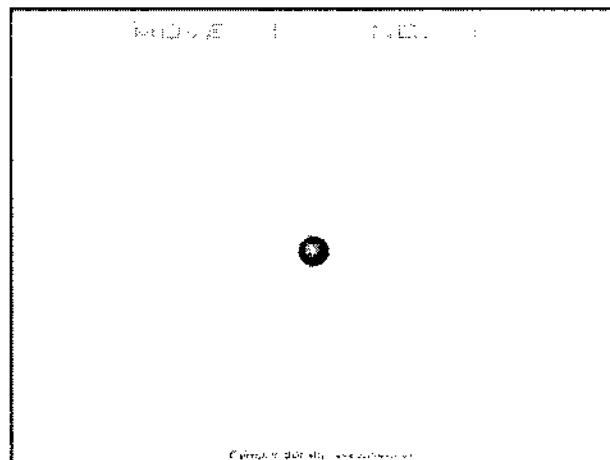
a. クリック練習(入門編)

- ① 講師が画面を準備します。
- ② 講師の操作説明を聞いて、「START」の文字(右画面の下部)をクリックします。

※画面が変わって練習開始です。

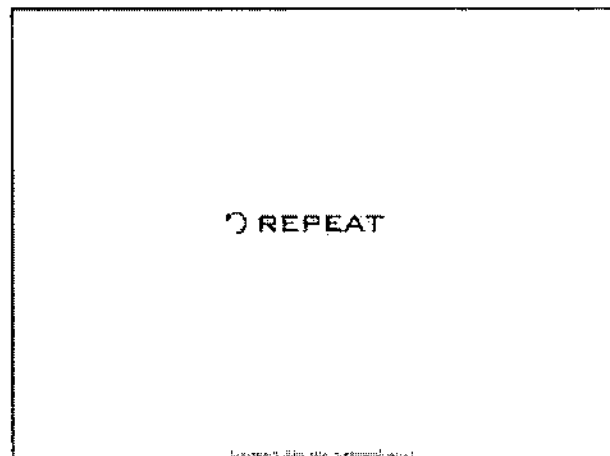


- ③ 緑色のボールにマウスポインタを移動して、その場でマウスの左ボタンをクリックします。
- ④ クリックが成功すると、緑色のボールは別の場所に移動します。追いかけてクリックします。



- ⑤ ボールを 50 回クリックすると終了です。「REPEAT」の文字が表示されます。

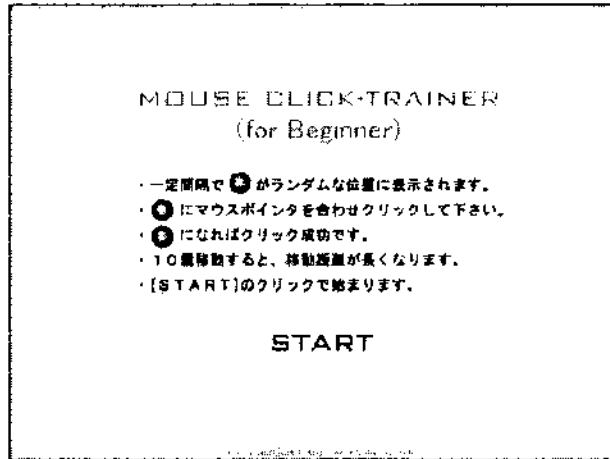
※繰り返し練習する場合は「REPEAT」の文字をクリックします。



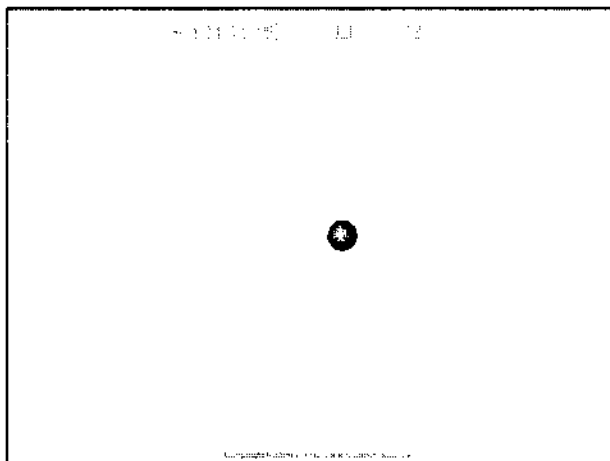
b. クリック練習(初級編)

- ① 講師が画面を準備します。
- ② 講師の操作説明を聞いて、「START」の文字(右画面の下部分)をクリックします。

※画面が変わって練習開始です。

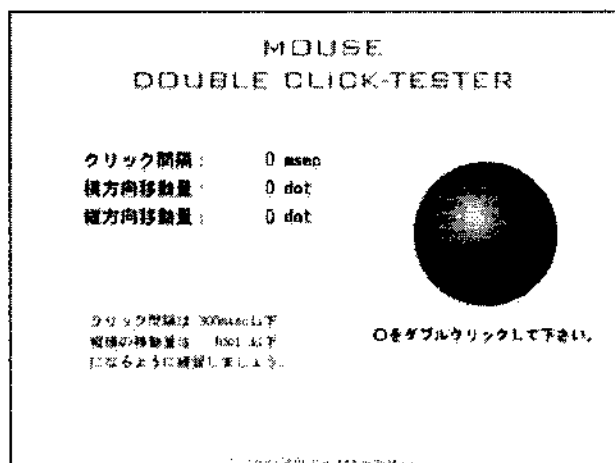


- ③ ボールは約3秒間隔で移動します。
- ④ 移動するボールを追いかけてボールをクリックします(ボールを捕まえます)。画面上部にはうまくボールを捕まえた回数が表示されます。
- ⑤ ボールが50回移動すると終了です。「REPEAT」の文字が表示されます。



c. ダブルクリック計測

- ① 講師が画面を準備します。
- ② 講師の操作説明を聞いて、緑色のボールの上でダブルクリックします。
- ③ 首尾よくダブルクリックができれば、「OK!!」と表示されます。



※マウスのダブルクリックが上手く出来ない人は、次の2つの原因が考えられます。

- ・クリックとクリックの間隔が長い
- ・クリックしてから次のクリックまでの間にマウスを移動させている

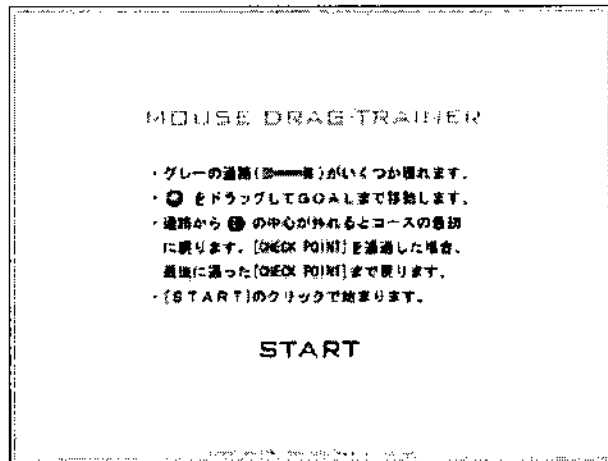
このような場合は、次の2点に注意して練習してください。

- ・マウスを握らない = 親指と薬指をマウスの左右にそえるだけ
- ・マウスのボタンを強く押さない = 軽く「チョンチョン」と短く「タップ」する

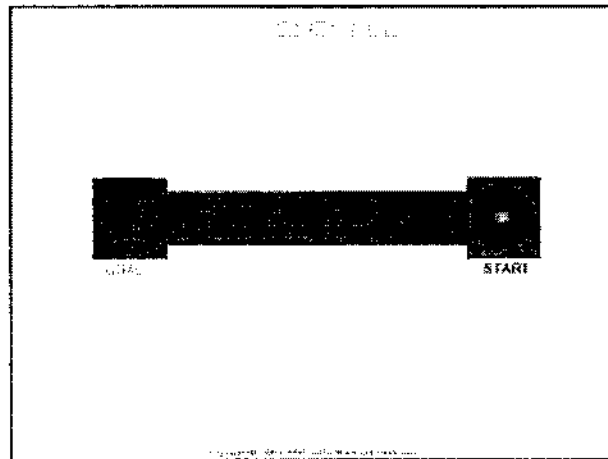
d. ドラッグ練習

- ① 講師が画面を準備します。
- ② 講師の操作説明を聞いて、「START」の文字(右画面の下部分)をクリックします。

※画面が変わって練習開始です。



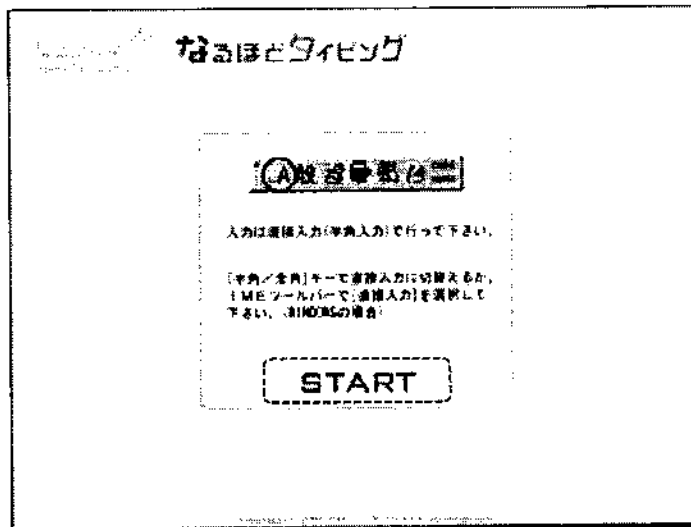
- ③ 緑色のボールをクリックして、そのままオレンジ色のゴールまでドラッグします。緑色のボールをゴールまで運ぶと次の画面に変わります。



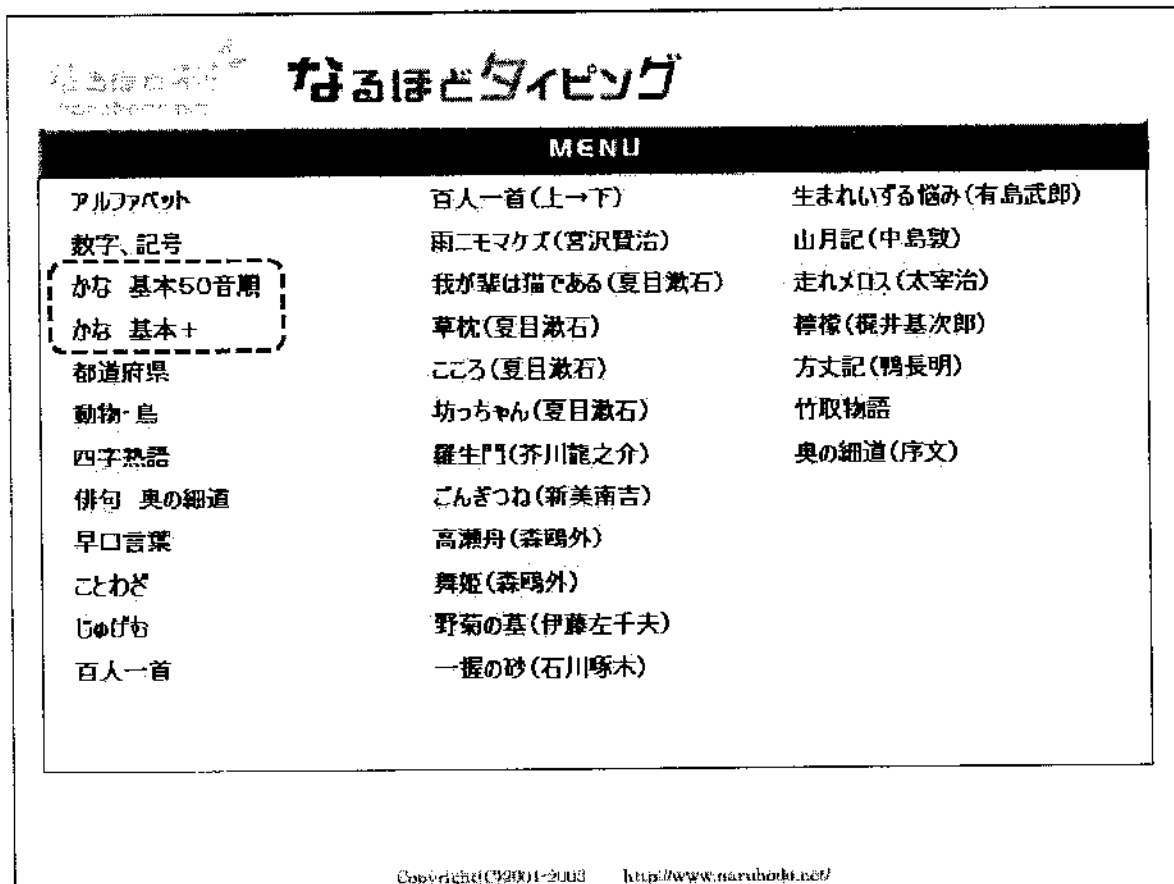
- ④ 全部で8画面が用意されています。
第5画面までは頑張ってチャレンジしてください。できれば時間がかかっても最後までチャレンジしてみてください。(200秒程度で完走すると Good Job !)

ローマ字入力の練習（「なるほどネット」で提供されている練習ツールです。）

a. 講師が画面を準備します



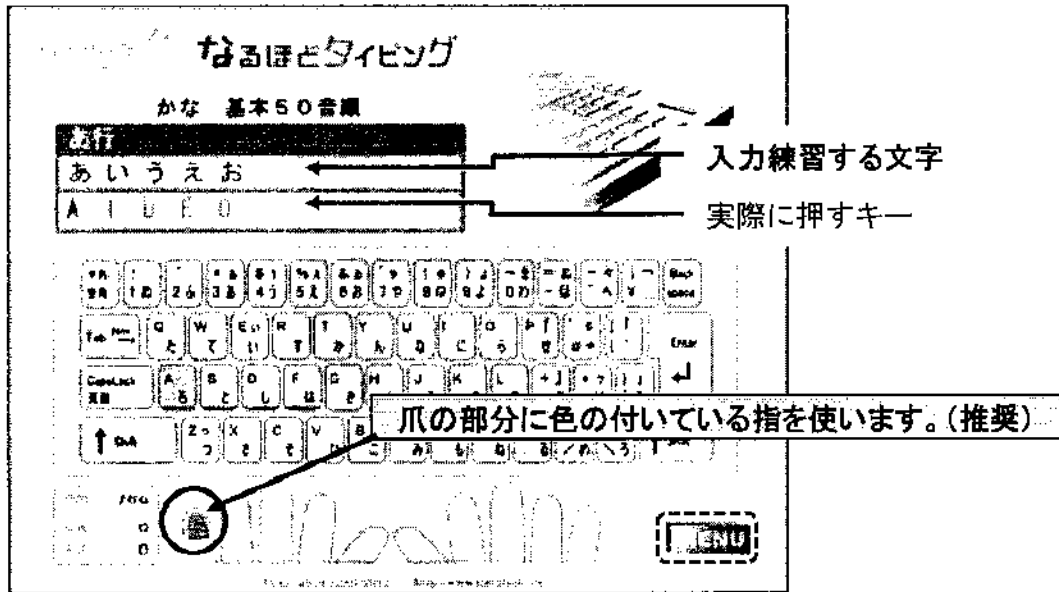
上の画面で「START」の文字をクリックすると、メニュー画面に変わります。



最初に五十音のローマ字入力を練習しましょう。

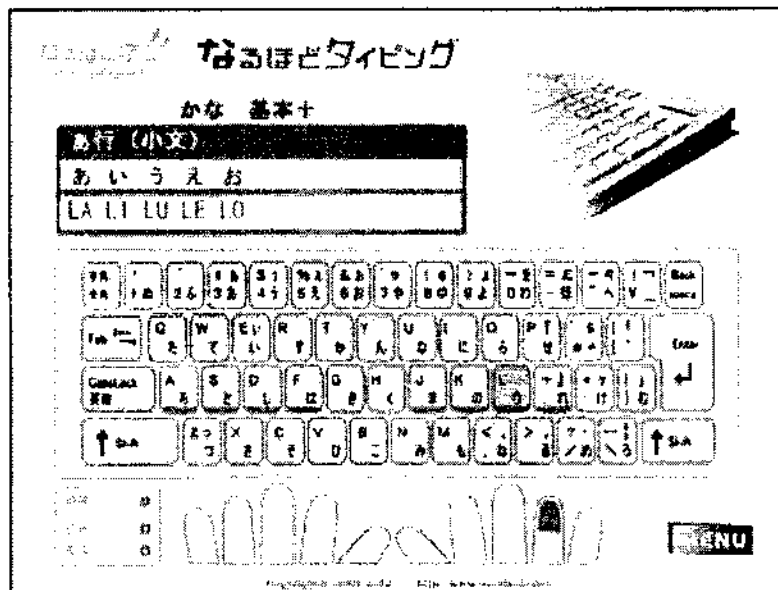
- ・「かな 基本50音順」
- ・「かな 基本+」

① かな 基本50音順



- ・ 入力練習の最後まで進むと、一巡して最初の画面になります。
- ・ 繰り返し練習する場合はそのまま続けます。
- ・ 右下の「MENU」をクリックするとメニュー画面に戻ります。

② かな 基本+



①項と同じ要領でローマ字入力の練習をします。

五十音のローマ字入力練習が終わったら、その他のメニューに挑戦しましょう。画面右下の「MENU」をクリックするとメニュー画面に戻ります。

毎日 30 分程度でよいので、継続して練習してください。

入力スピードが日増しに速くなっていくのが実感できるでしょう。

1ヶ月もすれば、見違えるような入力スピードになります。

【例1】都道府県



なるほどタイピング

都道府県

北海道

ほっかいどう

HO KKA I DO U





時間 547

OK O

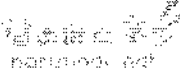
ミス O



MENU

Copyright(C)2001-2012 <http://www.naruhodo.net/>

【例2】四字熟語



なるほどタイピング

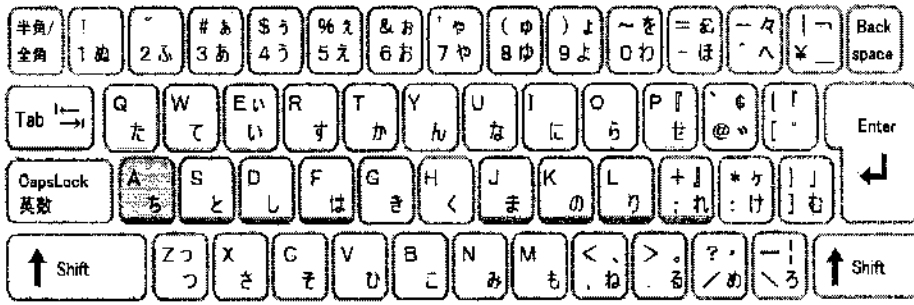
四字熟語

安楽浄土

あんらくじょうど

A NN RA KU JO U DO


安心して楽しく生活できる場所



時間 14

OK O

ミス O



MENU

Copyright(C)2001-2012 <http://www.naruhodo.net/>

<参考>

ひらがなとローマ字入力の対応表

複数の方法で入力できるものは、それも示しました。

あ A	い I	う U	え E	お O	しゃ SYA (SHA)	しい SYI	しゅ SYU (SHU)	しえ SYE (SHE)	しよ SYO (SHO)
か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO	っ LTU(XTU)				
さ SA	し SI(SHI)	す SU	せ SE	そ SO	ちゃ TYA (CYA) (CHA)	ちい TYI (CYI)	ちゅ TYU (CYU) (CHU)	ちえ TYE (CYE) (CHE)	ちよ TYO (CYO) (CHO)
た TA	ち TI(CHI)	っ TU(TSU)	て TE	と TO	てゃ THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO	にゃ NYA	にい NYI	にゅ NYU	にい NYE	によ NYO
は HA	ひ HI	ふ HU(FU)	へ HE	ほ HO	ひゃ HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO	ふぁ FA	ふい FI	ふゅ FYU	ふえ FE	ふよ FO
や YA		ゆ YU	い YE	よ YO	みゃ MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO
ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO	りゃ RYA (XYA)		りゅ RYU (XYU)		りよ RYO (XYO)
わ WA	う WI		え WE	を WO	りゃ RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ん NN					ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO	じゃ ZYA (JA)	じい ZYI	じゅ ZJU (JU)	じえ ZYE (JE)	じよ ZYO (JO)
ざ ZA	じ ZI(JI)	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO	でゃ DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
ぁ LA (XA)	ぃ LI (XI)	ぅ LU (XU)	ぇ LE (XE)	ぉ LO (XO)	ぶぁ VA	ぶい VI	ぶゅ VU	ぶえ VE	ぶよ VO
うぉ ULO(UXO)		わ LWA(XWA)							
きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO					

(出典：日経PCビギナーズ2012年6月号特別付録)

日本語入力 ~ ワード(Microsoft Office Word)を使って ~

[準備]

(1) ワードの起動

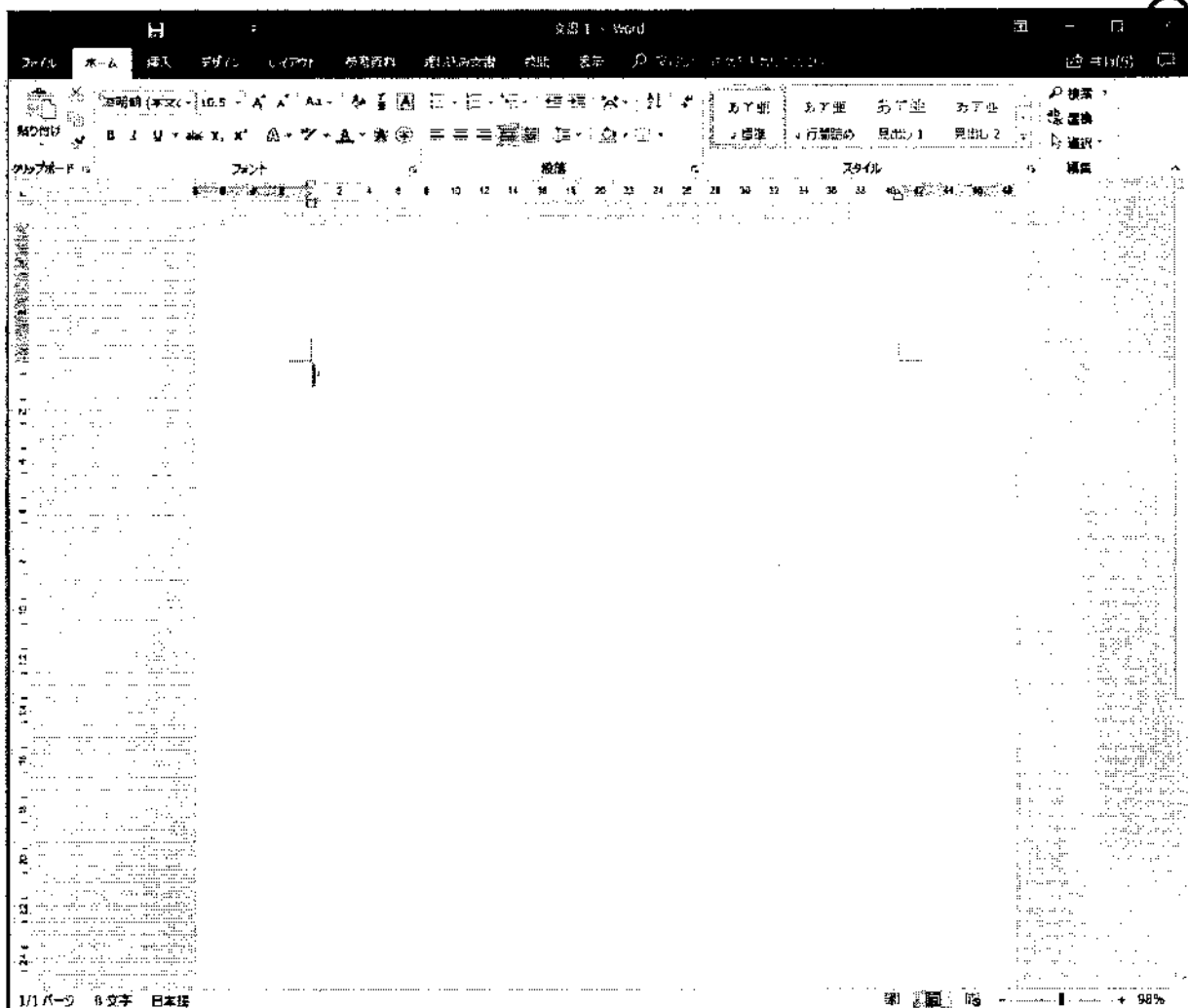
- ① スタートメニューの左欄にあるプログラム一覧の右端のルーラーを動かして
- ② プログラムの一覧から[Word]をクリックします。



- ・ デスクトップ画面にワードのアイコン (Word) があれば、ダブルクリックで起動できます。
- ・ スタートメニューにワードのアイコンがあれば、クリックで起動できます。
- ・ タスクバーにワードのアイコンがあれば、クリックで起動できます。
- ・ 一般的に、よく使うプログラムはデスクトップ画面上にアイコンを作成し、そのアイコンをダブルクリックして起動する方法が使われています。


(2) ワードの画面

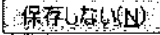
ワードを起動すると下図の画面が表示されます。

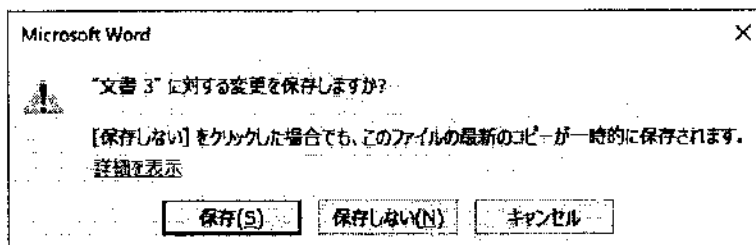


(3) ワードの終了

練習が終わったらワードを終了します。

ワードの画面の右上にある「閉じるボタン」() をクリックします。

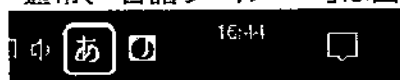
保存を確認する画面(下図)が表示されるので、  をクリックします。



〔日本語入力の基本操作〕

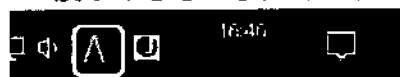
(1) 言語ツールバー (MS-IME ツールバー)

通常、「言語ツールバー」は画面の右下(タスクバーの中)に表示されています。



全角入力モード(日本語入力がオンの状態)

漢字やひらがな、カタカナ以外に、アルファベットや数字も全角で入力できます。



半角入力モード(日本語入力がオフの状態)

英数字および記号の入力。

半角カタカナも使えますが、メールなどに使うと文字化けなどのトラブルを起こします。

※全角と半角

文字サイズの違いや大文字と小文字の違いを意味するものではありません。

アルファベットや数字、カタカナの半角文字はありますが、漢字・ひらがなの半角文字はありません。

一般に半角文字は全角文字の約半分の横幅で表示されます。ただし書体(フォント)によっては文字ごとに横幅が異なるものもあり、一概には言えません。

[全角]	アイウエオ	パソコン	a b c d e	A B C D E	2 3 4
[半角]	アィウヱォ	パソコンパソ	abcdefghijkl	ABCDEFGHIJ	234567

※アルファベットの大文字と小文字

[全角大文字] A B C D E F G H I J K L M N

[半角大文字] ABCDEFGHIJKLMN

[全角小文字] a b c d e f g h i j k l m n

[半角小文字] abcdefghijklmn

(2) 文字の入力と改行

- ① ひらがなの『あ』をキーボードで入力します。

あ

画面上では文字の下に点線(または波線)が表示されます。

これは、「まだ入力は確定していないよ!」「漢字やカナに変更できるよ!」ということを表しています。

文字の右の縦棒線は「カーソル」といって、鉛筆に例えるとペン先にあたります。カーソルのある位置から文字が入力されます。

- ② キーボードの「Enter キー」を押します。

あ

文字の下の点線表示が消えて、文字の入力が確定しました。

- ③ 続けて『いうえお』と入力して、確定します(キーボードの「Enter キー」を押します)。

あいうえお

④ 改行します。

改行するには、まず改行したい場所にカーソルがあることを確認してください。
 現段階では『あいうえお』と入力したので、『お』の右隣にカーソルが点滅しているはずですが、その状態でキーボードの「Enter キー」を押すと、下の行の先頭にカーソルが移動します。

あいうえお



(3) 漢字の変換

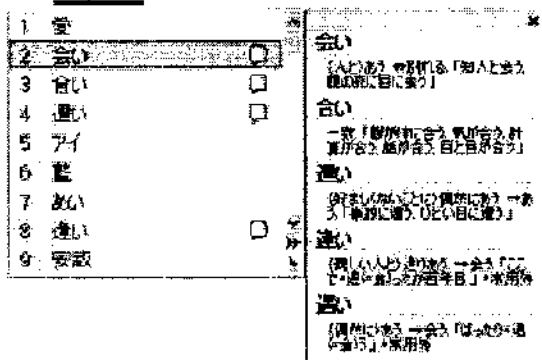
- ① キーボードで『あい』と入力し、「変換キー」(または「空白キー」)を押します。変換された漢字が表示されます。

愛

画面上では文字の下に太い下線が表示されます。(変換する前は点線表示です。)
 この漢字で良ければ「Enter キー」を押して、確定します。

- ② 他の漢字に変換したい場合は、再度「変換キー」を押します。

会い



- ③ 『あい』に相当する文字が一覧で表示されます。カタカナもあります。選ぶ方法は4種類あります。

- ・目的の文字まで「スペースキー」を押し続ける
- ・目的の文字まで矢印キー(↓・↑)を押し続ける
- ・マウスで目的の文字を選択する
- ・キーボードで目的の文字の左側にある番号を押す

いずれかの方法で選択したら、「Enter キー」を押して確定します。

(4) 再変換(いったん確定している文字を再変換する)

入力した直後だけでなく、別の漢字に再変換することができます。

『教会』と変換するところを、誤って『協会』と変換して確定してしまった場合を例に説明します。

月末には協会に行きます。

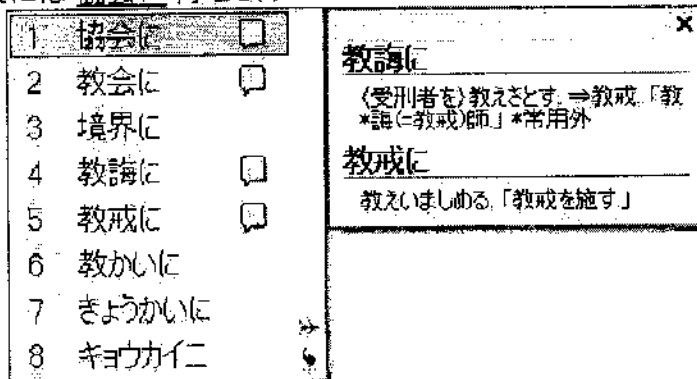
- ② 再変換したい文字「協会」をマウスでドラッグして範囲選択します。

月末には協会に行きます。

- ② 「変換キー」を押すと、上記(3)項の②とどうようの状態になります。

- ③ 「変換キー」を何回か押して、変換候補の「教会」を選択します。

月末には協会に行きます。



- ④ 「Enter キー」を押して確定します。

月末には教会に行きます。

(5) ファンクションキーで一発変換！

ひらがな入力した後に以下のファンクションキーを押すと一発で変換できます

ファンクションキー	一発変換できます
F6	ひらがな
F7	全角カタカナ
F8	半角カタカナ
F9	全角英数字
F10	半角英数字

日本語を入力していて半角の英文字や数字が混ざっている場合には、「F10」キーで半角英数字に変換できるので、直接入力(半角入力モード)に切り替える手間が省けます。

a. カタカナ

1) 全角カタカナ

入力後「F7」を押し、続いて「Enter キー」を押して確定します。

- ① 「ばそこんは」と入力し、「F7」を1回押すと「パソコンハ」に変換されます。
- ② もう1回「F7」を押すと「パソコンは」となります。(右端の文字がひらがなに変わります。)
- ③ さらに「F7」を押すと「パソコンは」と、後ろから2文字がひらがなに変わります。
<以降、同じです。>

2) 半角カタカナ

入力後「F8」を押し、続いて「Enter キー」を押して確定します。

- ① 「ばそこんは」と入力し、「F8」を1回押すと「パソコンハ」と半角カタカナに変換されます。
- ② もう1回「F8」を押すと、「パソコンは」と一番後ろの文字だけひらがなに変わります。
- ③ さらに「F8」を押すと、後ろから2文字がひらがなに変わります。

b. アルファベット(「全角入力モード」の場合)

1) 全角アルファベット

文字を入力した後、「F9」を押し、「Enter キー」を押して確定します。

全角で「gift」と入力する場合

- ① キーを「G」「I」「F」「T」の順に押します。「ぎft」と表示されます。
 - ② 「F9」を1回押すと、「gift」とすべて英小文字に変換されます。
 - ③ もう1回「F9」を押すと、「GIFT」とすべて英大文字に変換されます。
 - ④ さらにもう1回「F9」を押すと「Gift」と先頭文字だけが英大文字に変換されます。
- ※「すべて小文字」→「すべて大文字」→「先頭の文字だけ大文字」の順に変換されます。

2) 半角アルファベット


文字を入力した後、「F10」を押し、「Enter キー」を押して確定します。

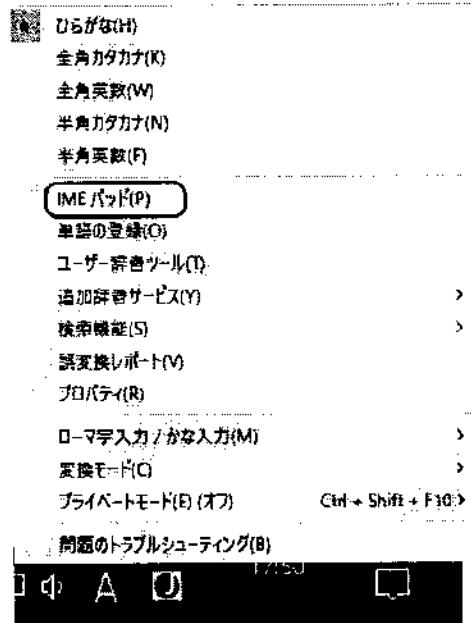
半角で「gift」と入力する場合

- ① キーを「G」「I」「F」「T」の順に押します。
 - ② 「F10」を1回押すと、「gift」に変換されます。
 - ③ もう1回「F10」を押すと、「GIFT」に変換されます。
 - ④ さらにもう1回「F10」を押すと、「Gift」に変換されます。
- ※「すべて小文字」→「すべて大文字」→「先頭の文字だけ大文字」の順に変換されます。

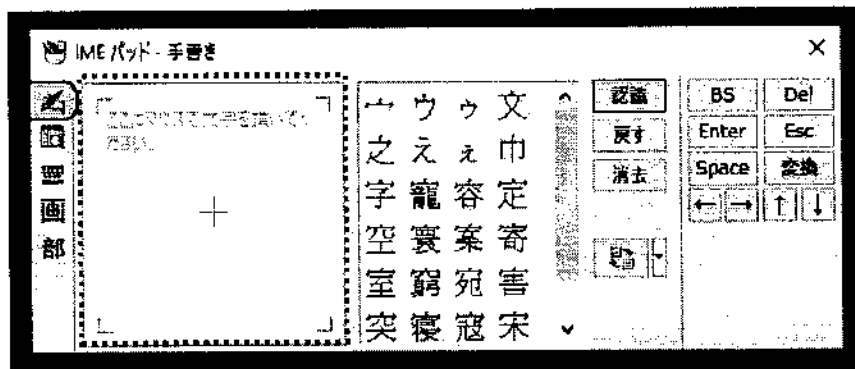
(6) IMEパッドを活用して文字入力

a. 「手書き」・・・読みの分からない漢字の入力

言語バー  の“A”の上で右クリックして立ち上がるウインドウにある「IME パッド」ボタンをクリックして、メニューから「手書き」をクリックします。



※メニューが表示されなくて、「IME パッド-手書き」の画面(下図)が直接表示される場合もあります。



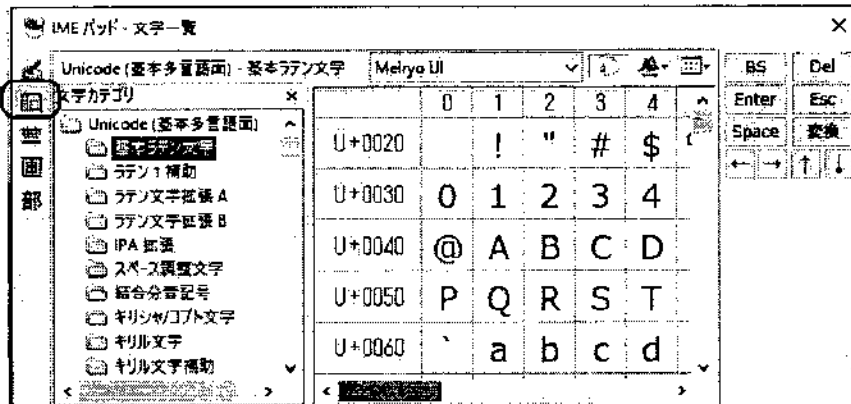
「IME パッド-手書き」の画面

図の左部分のスペース(点線で囲んだ部分)でマウスをドラッグして文字を描くと、候補の文字の一覧が中央部分に表示されます。目的の文字をクリックすると、カーソルで指定した位置に文字が表示されます。

※候補の文字の上にマウスポインタを置くと、読み仮名が数秒間だけ表示されます。

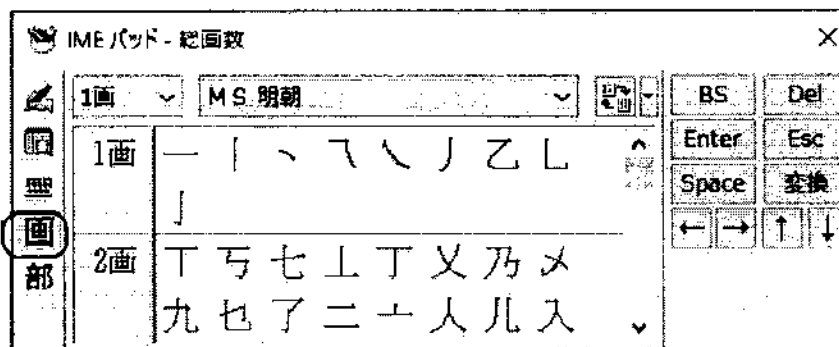
b. 「文字一覧」・・・記号や特殊文字の入力

分類を選択すると、候補の文字の一覧が表示されます。「文字カテゴリ」で絞り込んで、目的の文字をクリックします。



c. 「画」(総画数)

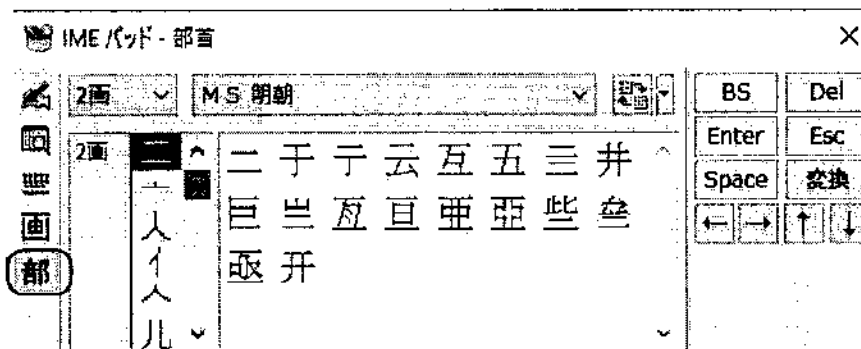
文字の総画数で絞り込んで、目的の文字をクリックします。



<「画」の画面例>

d. 「部」(部首)

部首の画数から部首を絞り込んで、目的の文字をクリックします。



<「部」の画面例>

【文字入力練習】

練習 1: フォントの書式を以下のように設定して、文字を入力します。

(手順は講師が説明します。)

① フォント ⇒ MSゴシック

下図のボタン①(□)をクリックして、表示されるフォントの一覧から「MS ゴシック」を選択(クリック)します。

② フォントサイズ ⇒ 18

ボタン②(□)をクリックして、表示されるフォントサイズの一覧から「18」を選択(クリック)します。

③ 全部で6行あります。各行の最後でキーボードの「Enter」キーを押します。


※「半角入力」の場合は、文字の入力後に「Enter」キーを押せば改行されます。

※「全角入力」の場合は、変換確定の「Enter」キーを押した後、もう一度「Enter」キーを押さないと改行しません。

The screenshot shows the Microsoft Word interface with the font set to MS Gothic and size 18. The document content is as follows:

Input Type	Input	Key Instructions
半角入力 (Half-width input)	0123456789	数字を入力。
	abcdefghij	英小文字を入力。
	OPQRSTUVWXYZ	英大文字を入力。
全角入力 (Full-width input)	はる	「H」「A」「R」「U」と入力して「Enter」キーを押す。
	ナツ	「N」「A」「T」「U」と入力して「F7」キーを押す。
	秋	「A」「K」「I」と入力して「変換」キーを押す。

練習2: フォントを「MS ゴシック」、フォントサイズを「14」に設定して、以下の漢字を入力します。


 変換を確定した後、もう一度[Enter]キーを押してください。

ローマ字を思いつかない場合は右側の文字列(薄い表示部)を参考にしてください。




著作権	TYO SA KU KE NN
受信料	JU SI NN RYO U
方針	HO U SI NN
講座	KO U ZA
奪取	DA SSYU
脈絡	MYA KU RA KU
逆上	GYA KU JO U
領収書	RYO U SYU U SYO
汚職事件	O SYO KU JI KE NN
女王	JYO O U
お食事券	O SYO KU JI KE NN
雰囲気	HU NN I KI

練習3: フォントを「MS ゴシック」、フォントサイズを「14」に設定して、次のカタカナを入力しましょう。「F7」キーを使って、カタカナに変換します。

 変換を確定した後、もう一度[Enter]キーを押してください。

アルファベット	A RU FA BE TTO
ウィザード	WI ZA - DO
ウィンドウズ	WI NN DO U ZU
セキュリティ	SE KYU RI THI
ディズニーランド	DHI ZU NI - RA NN DO
ファンタスティック	FA NN TA SU THI KKU
フィッシング	FI SSI NN GU
ヴァイオリン	VA I O RI NN
プロパティ	PU RO PA THI
ボジョレーヌーボー	BO JO RE - NU - BO -

練習4: フォントを「MS ゴシック」、フォントサイズを「14」に設定して、次の漢字を入力しましょう。読み方がわからない場合は「IME パッドー手書き」を利用します。

 変換を確定した後、もう一度[Enter]キーを押してください。

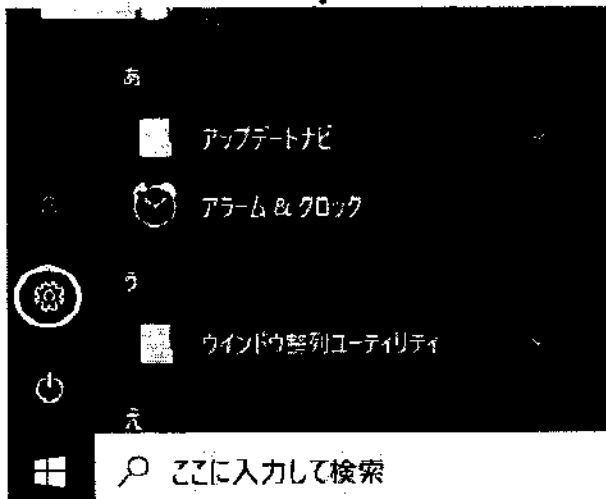
将棋
携行
合意
頌春
鶯
折半
篋
玄人
興招
坏

「設定」

「設定」とは、パソコンを使うために必要な設定をする場所です。むやみに設定を変更するとパソコンの動作が不安定になる危険もありますが、通信やネットワークに関する設定や、ディスプレイ、マウス、キーボード、プリンター、音声など、パソコンや Windows の基本的な機能についての設定項目が多く、パソコンをきちんと使いこなす上で必要な機能がそろっています。

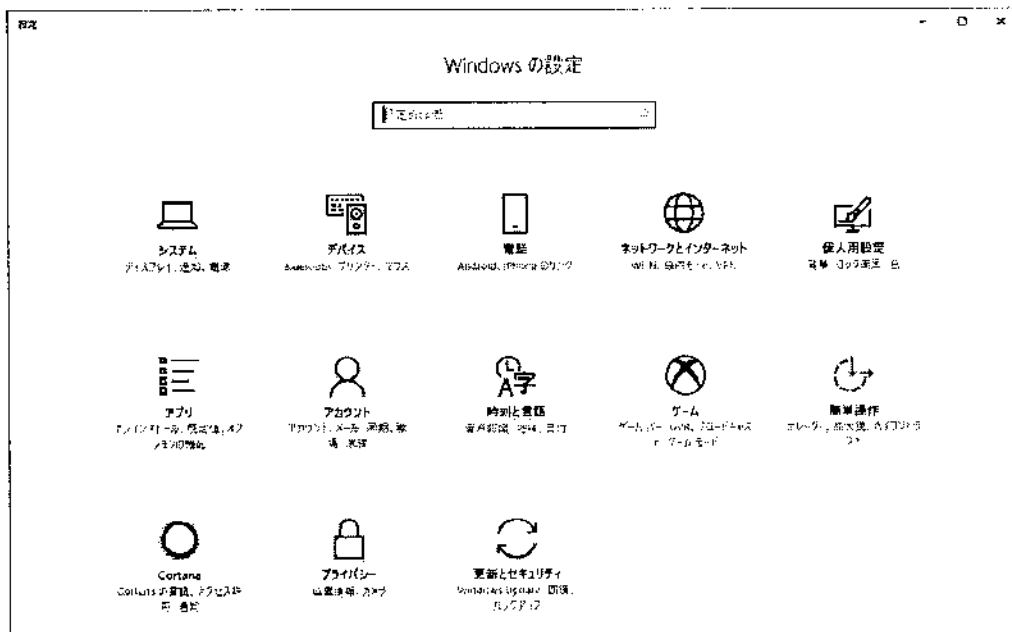
1. 「設定」画面を開く

- ① 画面左下の「設定ボタン」をクリックすると、「Windows の設定」画面が開きます。



左図は「スタートメニュー」の上の部分のカットしています。

- ② 「Windows の設定」画面が表示されます。



初心者が操作するとパソコンの動作が不安定になりますので、説明は省きます。

2. 「コンピューター」の主な中身

a. ローカルディスク(C:)

通常、Windows 本体が保存されていて、パソコンを動かすために必要なハードディスクドライブです。パソコンで使用するプログラムや重要なファイルなどが保存されています。

ローカルディスク(C:)に個人で作成したファイルをむやみに保存したり、削除したりすることはシステムの動作を不安定にする原因となります。なるべく他のローカルディスクを使いましょう。

※ 「ローカルディスク(C:)」のうち、(C:)という表示はWindowsの管理用番号です。“ローカルディスク”という表示はパソコンの使用者が自由に変更することができます。

b. ローカルディスク(D:)

通常、ワードなどのアプリケーションで作成した個人ファイルを保存します。またファイルを分類・整理して保存するためにフォルダを前もって作成しておきます。

パソコンによっては、ローカルディスク(D:)がない場合やローカルディスク(E:)以降のハードディスクドライブがある場合があります。

c. DVD RWドライブ(E:)

CD や DVD などの光学式ディスクを読み書きするために使用します。

通常はハードディスクドライブの番号に続くアルファベットがドライブ番号になります。

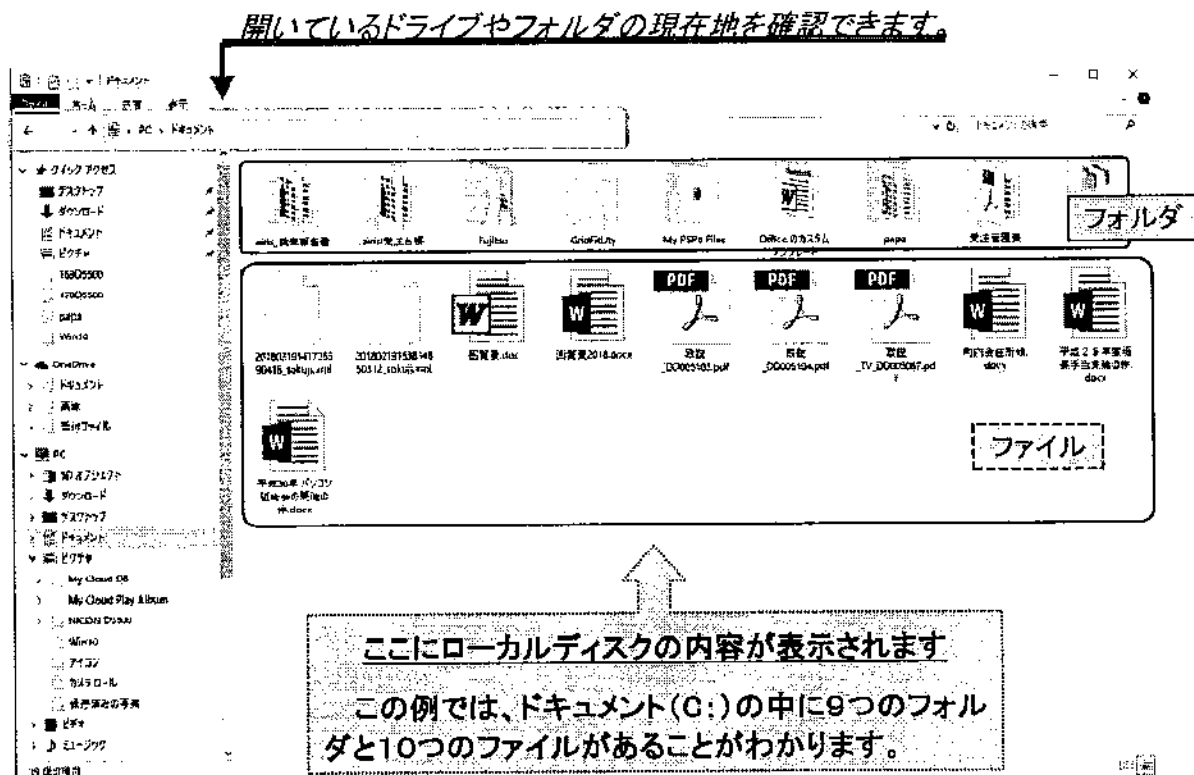
また、ドライブの種類によりアイコンの表示も異なる場合があります。

3. ローカルディスクの内容を見るには

① 「エクスプローラー」画面でローカルディスクのアイコン()をダブルクリックします。

② ローカルディスクの中身が表示されます。(ローカルディスクを「開く」と言います。)

下の図は「ドキュメント」ローカルディスク(C:)を開いた例です



ファイルとフォルダの基本

1. ファイルとフォルダ

エクスプローラーの「コンピューター(PC)」画面でドライブのアイコンをダブルクリックすると、そのドライブが開いて、保存されているファイルやフォルダの一覧が表示されます。

ファイルとは、パソコンに保存されているプログラム、文書、画像、音楽などのデータの総称です。データの内容の大きさに関係なく、ひとつのデータがひとつのファイルとして扱われます。

フォルダとは、ファイルを仕分け・整理して保存するための入れ物です。

フォルダの中には仕分けされたファイルが保存されると同時に、ファイルをさらに細かく分類するためにフォルダを用意することができます。

※ フォルダは「コンピューター」画面の左部分に階層構造(ツリー構造)で確認することができます。

開いているドライブやフォルダの現在地を確認できます。



フォルダを開くとフォルダの中身(ファイルやフォルダ)が一覧表示されます(→下の階層に移動します)。その中にフォルダがあれば、さらにその下の階層に移動できます。

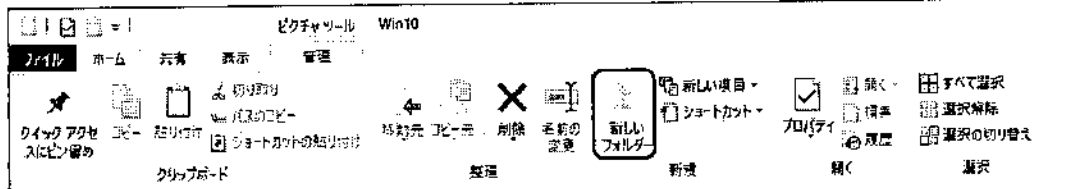
画面左上にある「戻る」ボタン↑をクリックすると、ひとつ前に開いた階層に戻ります。

※フォルダを開くには、フォルダのアイコン(📁)にマウスポインタを置いて、マウスをダブルクリックします。ダブルクリックがうまく反応しない場合は、マウスをクリックした後にキーボードの「Enter」キーを押します。

2. ファイルやフォルダの操作

a. 新しいフォルダの作成

- ① 新しくフォルダを作成する場所(ドライブあるいはフォルダ)を開きます。
- ② コマンドバーの「新しいフォルダ」をクリックします。



- ③ 『新しいフォルダ』という名前の付いたフォルダが作成されます。
→
- ④ このときの『新しいフォルダ』は仮の名前です。後で識別できるように分かりやすい名前に変更します。
- ⑤ キーボードの「Delete」キーを押すとフォルダの仮の名前『新しいフォルダ』が消えて、空白になります。
- ⑥ そのままキーボードから名前を入力し、「Enter」キーを押します。入力モード(全角/半角)に注意！

b. ファイル名(またはフォルダ名)の変更

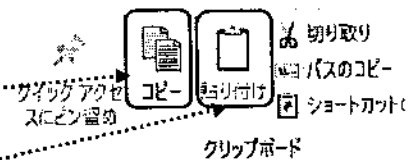
- ① 名前を変えたいファイル(またはフォルダ)を選択します(クリックします)。
- ② 「整理」コマンドのメニューの「名前の変更」をクリックします。



- ③ 名前の部分が反転表示されます。
→
(フォルダの名前が『変更前』の場合)
- ④ キーボードの「Delete」キーを押すと、フォルダの名前が消えて空白になります。
- ⑤ そのままキーボードから新しい名前を入力し、「Enter」キーを押します。(入力モードに注意！)

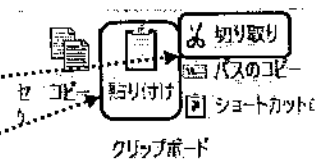
c. ファイルやフォルダのコピー

- ① コピーしたいファイルやフォルダを選択(クリック)します。
- ② 「整理」コマンドのメニューの「コピー」をクリックします。
- ③ コピー先のフォルダを開きます。
- ④ 「整理」コマンドのメニューの「貼り付け」をクリックします。
(コピー完了です。)



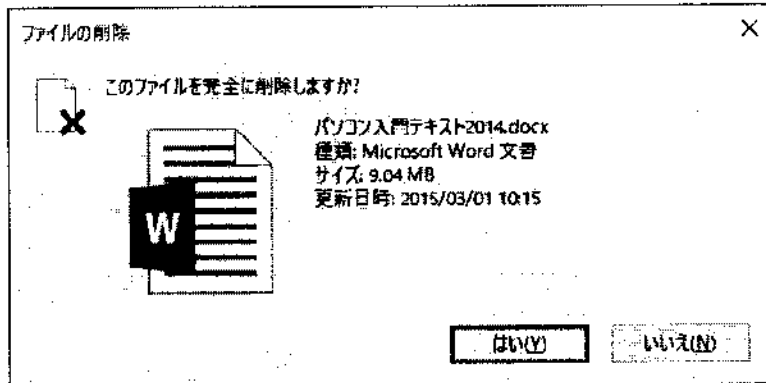
d. ファイルやフォルダの移動

- ① 移動したいファイルやフォルダを選択(クリック)します。
- ② 「整理」コマンドのメニューの「切り取り」をクリックします。
- ③ 移動先のフォルダを開きます。
- ④ 「整理」コマンドのメニューの「貼り付け」をクリックします。
(移動完了です。)




o. ファイルやフォルダの削除

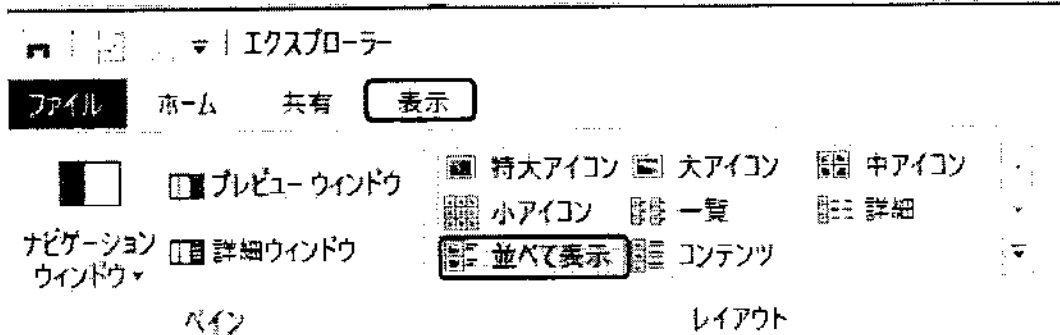
- ① 削除したいファイルやフォルダを選択(クリック)します。
- ② 「ホーム」タブの整理メニューの「削除」をクリックします。
(キーボードの「Delete」キーを押しても同じです。)
- ③ 確認の画面が表示されます。



- ④ 「はい」をクリックすると、指定したファイル(またはフォルダ)が削除されます。
- ※ 削除されたファイルやフォルダは「ごみ箱」に移動されるだけで、パソコンの中に残っています。別途、「ごみ箱」を空にする操作をしない限り、元に戻すことができます。
- ※ 「コンピューター」画面の「ドライブ(C:)」には Windows 本体をはじめとしてパソコンが正常に動作するために重要なファイルが保存されています。これらのファイルの削除や移動は絶対にしてはいけません。
- ⇒ **パソコンが動かなくなります!**

3. ファイルやフォルダの表示スタイル

エクスプローラー()画面を立ち上げて、コマンドバーの「表示」ボタンをクリックすると、表示スタイルのメニューが表示されます。





実際に操作をして、それぞれの表示スタイルを確認してみましょう。
通常は「並べて表示」を選択すれば良いでしょう。

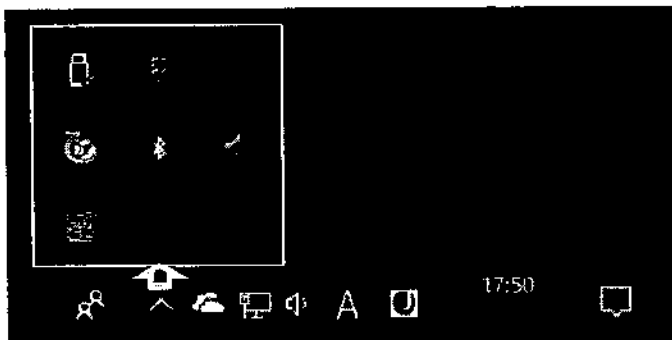
4. USBメモリの取り扱い

Wordで作成した文書や画像、動画などをパソコンから、または直接USBメモリに保存できます。保存するにはパソコンの差し込み口に USB メモリ(注:裏表があります)を差し込んで使用します。差し込みますとデバイスとして認識されて保存できるようになります。C ドライブと同じように新しいフォルダを作成したり、データを保存したりすることもできます。

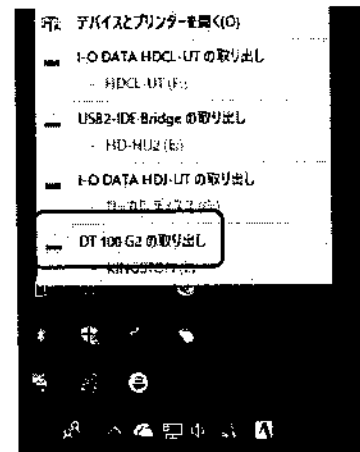
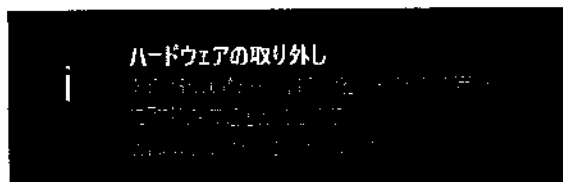
また、取り外して他のパソコンに差し込めば保存されてデータは読み取ることができ、また編集して保存するまたは新しいデータとして保存することもできます。

なお、USB メモリを取り外すにはデータの安全性のため、一定の操作で行う必要があります。

取り外すには画面の右下タスクバーに有る記号「」をクリックして「」をクリックして表示されるウィンドウから「USB の取り出し」をクリックします。



以下の画面が表示されたら安全に取り外すことができます。

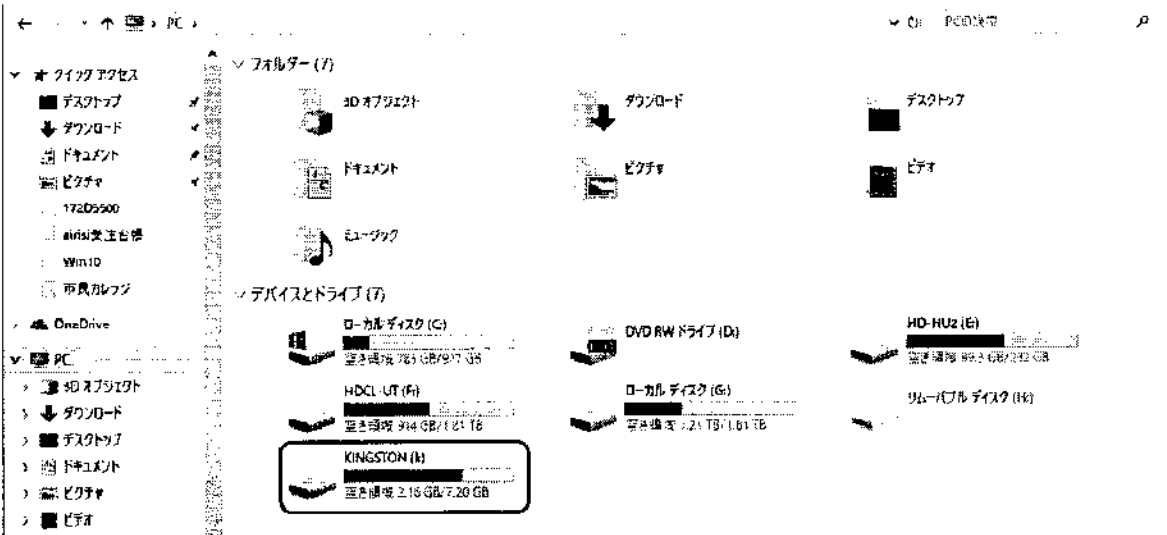


USB メモリの例

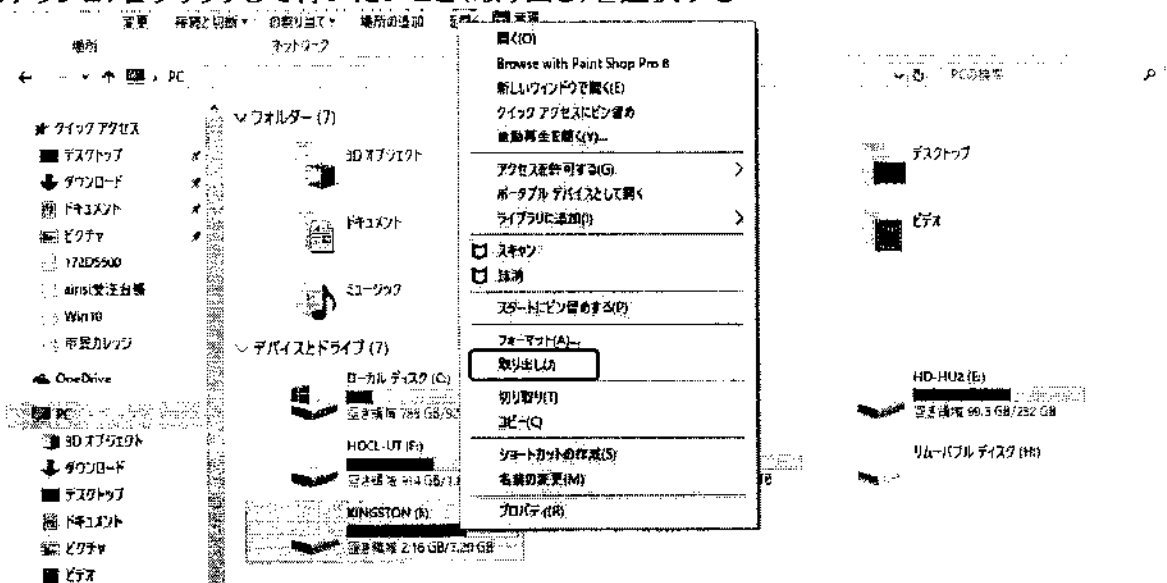
また、エクスプローラーの画面でも USB メモリを安全に取り外すことができます。

取り外したい USB メモリの画像上で右クリックして立ち上がるウィンドウの中にある「取り出し (J)」をクリックします。しばらくするとハードウェアの取り外し画面が画面右下に表示されれば、安全に取り外しできます。

ステップ1: 取り外す USB を選択する



ステップ2: 右クリックして行いたいこと(取り出し)を選択する



ステップ3: 安全に取り出すことが可能と表示される

